

# 中澤省一郎のSS経営メールマガジン No.28

(配信は不定期です。できる限り月1回以上は配信します)

## 第1部 石油業界の最新情報の解説を3倍増に拡大。《30分》⇒《45分×2=90分》

10月23日、24日のセミナーで、石油業界最新情報を拡大して解説します。

### 10月23日(火) (拡大) 13:15~14:00

「国内の灯軽油の状況が大きく変化しています。 - 海外の市況、輸入玉の影響を含む - 」

9月28日の日経新聞に「米国産軽油、世界で存在感 割安な原油調達、輸出攻勢」という記事が掲載されました。

これは、WTI逆价差(造語です。WTIが北海ブレントやドバイより大幅に安いことを指します)が原因です。

日本の元売の灯軽油の輸出が想定より減少することは必須で、産業用を中心にして、大幅な状況変化が起きようとしており、少しづつ顕在化してきています。軽油中心のフリートの更なる再編も考えられます。

猛暑も終わると皆様は灯油の季節になります。灯油の収益が、会社の収益に大きな影響を与える会社も多いかと思えます。この解説により、今冬の対応に参考にいただければ幸いです。

(シェールガス、シェールオイル、米国内の精製・原油の状況も解説します)

### 10月24日(水) (新設) 13:15~14:00

「コスモ石油はどこが救うか? TGは? - 元売各社等の財務分析比較 - 」

先日のメルマガNO27で、コスモ石油の巨額損失等について少し解説しました。石油業界では「既にコスモ石油の実態は債務超過では?」という共通認識を前提として、元売り各社等は、業界再編を見つめているように感じます。

前回のメルマガで、「コスモ石油とTGの1億株の行方に目が離せません」と記述しましたが、両社とも現状は、明確な「自己資本不足」です。違いは「自己資本の不足の程度とその緊急性」です。大幅な収益拡大が見込めない状況では、自己資本不足を解決するには、「増資」しかありません。「TGの1億株の売却=増資」です。

コスモ石油とTGの財務状況を解説すると共に、元売各社の財務状況を比較します。業界再編の方向性が見えてくると思えます。

## 第2部 GS経営者のための会計・税務セミナーの開催について

前回のメルマガで言及したように、参加者全員に対して、セミナー収録CDを送付することとしました。

詳しくはHPでご確認ください。 [http://nakazawa-cpa.net/1023\\_24.html](http://nakazawa-cpa.net/1023_24.html)

また、石油業界の大きな変化に伴い、第一部で記載したように、石油業界の最新情報を3倍増にしました。

### 10月23日(火) ■ GSの経営改善・資金調達力強化のための会計・税務1 - 金融円滑化法廃止にも対応 -

13:15~14:00	石油業界の最新情報「国内の灯軽油の状況が大きく変化しています。 - 海外の市況、輸入玉の影響 - 」
14:00~15:20	中小企業会計指針・基本要領を活用した経営改善・資金調達力強化(金利減免を含む)
15:30~16:30	金融円滑化法廃止に伴う自社の対応、得意先の対応
17:30~	帝国ホテルにて懇親会

23日は、会社全体の会計の話です。会社の決算書=会社の成績表です。銀行等は、この成績表を見て、融資等を決定します。

会社の決算書を良くする=会社の実態(成績)を向上させることです。会社の実態を向上させずに、「成績表」だけ良くすることを「粉飾決算」といいます。「中小企業の会計指針」や「中小要領」を活用すると優良企業は、金利減免で低金利+無担保・無保証等で資金調達して、さらに業容を拡大でき、ダメな会社も、収益力のある部分だけでも生き残れるのです。

### 10月24日(水) ■ 消費税増税に対応しPOSを最大活用する正確かつ迅速な部門(SS)別・月次決算1

13:15~14:00	石油業界の最新情報「コスモ石油はどこが救うか? TGは? - 元売各社等の財務分析比較 - 」
14:00~15:20	消費税増税の概要と適切な対応(1SSでも部門別)
15:30~16:30	正確かつ迅速な月次・部門別決算の必要性と対応

24日は、石油業界の最新情報に続き、第1部では、消費税増税でも最も節税できる部門別決算を言及します。

どのような部門設定をすればいいのかを中心に解説します。

第2部では、POSを最大活用した部門別・月次決算がテーマです。仕入れ価格が1週間単位で変わり、売値を月に何回も変わるガソリンスタンド業界では月次決算は必須です。理想は、SS毎の部門別の月次決算です。多くの会社がPOSを活用して、SS毎の収益管理をしています。しかしながら、経営者の判断により、POSへの入力データが異なります。原因は「POSへの入力」=従業員が知る+元売等も知る=社外流出の可能性にあります。現状では、POSから得られるデータで正しいのはSS毎の販売数量以外にも係らず、粗利等も活用すると、POSを活用した収益管理と決算が大きく乖離します。経営者が「POSから何をしたいか」=「何も入力するか?」です。POSから得られる正しいデータを把握し、そのデータを最大限活用して正確・迅速な月次決算により、経営改善を進めます。SS業界特有の「代行給油」「軽油税」の会計処理等は、2日に渡り解説します。なお、中澤公認会計士事務所は8月に制定された「中小企業経営支援法」に基づいて経済産業省の「経営革新等支援機関の認定」をいただくことになりました。

- 会場： 日本教育会館(東京都千代田区)
- 定員： 各日《40名》(両日参加者を優先させていただきます)
- 会費： 《18,000円》各日別・お一人様(同一の会社の方で二人目の方は12,000円)参加者全員に復習用CDを送付します。
- 申込： 申込みフォームをHPからダウンロードしてご利用ください。 [http://nakazawa-cpa.net/1023\\_24.html](http://nakazawa-cpa.net/1023_24.html)